

1 中学校の現況について(報告)

2 協議事項

(1) 学校運営について

学校評価より

業務改善について

(2) 伝統文化学びの充実事業について

(3) あさごドリームアップ事業について

(4) PTA 教育講演会について

3 その他

令和3年度 プロから学び創造力育成事業について

4 質疑応答

NO	意見及び質問事項	回答 等
1	・今後の入学生の動向と小規模校における特色ある取り組みをどうするのか。	・来年が極端に少ない。部活動運営も難しい。ぜひ、地域や保護者の力を借りながら、課題を共有し、小規模だからできる特色ある教育を進めていきたい。
2	・コロナ禍における換気対応をどのようにするのか。	・常時窓を開けておきたいが、極寒のため、業間にのみ窓を全開にして換気を継続させる。また、消毒をこまめに行っていく。
3	・生徒を公平に評価していくために工夫している点は何か。	・日々の関わりや振り返りで教師側のアンテナを高くし、情報を共有して公平を喫していく。
4	・デジタル時代に向けてセキュリティはどうなっているのか。	・個人情報に気になり登録されない保護者にはデジタル送信ができないが、登録されている保護者には、積極的にSNSにて情報提供をしていく。セキュリティに関しては、学校と市とで強力に行う。また、紙でなければならない情報もある。両面で情報を提供していく。 ・情報を発信の後には、受信確認を行う手立てを検討していきたい。
5	・銀山を調べることはよいが時代背景まで指導しておかなければならない。知ることと調べることとがある。	・地域の方の力を借り、より正確な知識を取り込ませたい。また、グループ活動として地域の宝を吸収し、次の時代に行かせる取り組みにまで高めていきたい。
6	・あだ名や呼び方の指導はどうなっているのか。	・ちゃんやあだ名はだめ。くん・さんについては、人権の観点から再協議して統一を図りたい。
7	・少人数という利点を生かし、これからの新しい教育のモデルとなるよう積極的にチャレンジしてほしい。SNS使用を進めてほしい。	・ネットの便利さと怖さを十分に指導しながら、デジタル機器を活用した新しい教育にチャレンジしていきたい。
8	・プロから学ぶ創造力育成事業について、バイオリン作家「松下敏幸」氏はいかがか。	・一人の候補として検討を進めていく。